

平成 26 年（2014 年） 9 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 4 日 目 ）

平成 26 年 9 月 18 日（木）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	奥 間 亮 (無 所 属) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 一括交付金の活用について 2 龍柱の建設について 3 放課後児童クラブ（学童）について 4 こども医療費について 5 公金支出返還請求訴訟（那覇市障害者福祉センター）の問題について	一括交付金を活用するにあたり「地元企業優先発注、地元産品優先使用」を推進すべきである。本市が考える、一括交付金事業に際して「地元企業優先発注、地元産品優先使用」を推進することの意義と効果について見解を伺う 「那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業」いわゆる龍柱の建設について、外国の企業と外国の石材を利用した理由を伺う 子育て世代の若いお父さんお母さん方を助けるためにも、児童クラブ（学童）に対する補助、支援をさらに拡充すべきである。その一つとして「放課後児童クラブ開所時間延長支援事業」の実施を提言する。見解を伺う こども医療費の助成について、本市も中学校 3 年生までこども医療費（通院・入院）の無料化を段階的に実現すべきである。見解と今後の見通しを伺う 本年 6 月 4 日、並びに本年 9 月 8 日に提起された 2 件の公金支出返還請求訴訟（那覇市障害者福祉センター）に関連する事実関係について、確認するため、以下質問する (1) 平成 20 年度、本市は那覇市身体障害者福祉協会から収支予算計画書を受理して契約するまでの間、書類の確認や手続き等について、本市の不十分な点、誤解を招く点は一切なかったのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 安全保障及び普天間飛行場の移設・危険性除去に対する翁長市長の政治姿勢について	(2) 条例改正によって、那覇市障害者福祉センターの事業内容に障害福祉サービスを加えることによって、国と県から補助金を受けることが可能となっているが、今年度、本市の負担はどれくらい減ったのか伺う (1) 県政野党5団体は、県知事選挙の候補者擁立に当たって、候補者に求める「基本姿勢及び組織協定」の中で、辺野古埋め立て承認について「承認を撤回し政府に事業の中止を求める」との文言を「新しい知事は承認撤回を求める県民の声を尊重し、辺野古新基地は造らせない」との文言にトーンダウンしている。翁長市長は、知事になれば、辺野古の埋め立て承認を撤回するのか、撤回しないのか伺う (2) 普天間飛行場の移設問題について、市長の立場と考え方を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 26 年 9 月 18 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	久 高 友 弘 (自民・無所 属・改革の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 幼稚園園舎 改築工事につ いて(城南小 学校)	(1) 首里地域に城南、城西、城北、城東、大名、 石嶺の6つの小学校がある。6つの小学校で 2年保育が実施されていない学校はどこか 伺う (2) 那覇市に小学校が何校あるか。その中で2 年保育を実施している学校は何校あるか伺 う (3) 2年保育はいつから実施されたか。また実 施した理由を伺う (4) 計画段階における意見交換会が実施され た。参加者はどのような方々か。あと何回行 うつもりか伺う
		2 公有地売却 について	(1) 首里支所跡地はいつ誰に、いくらで売却さ れたか伺う (2) マンション建設は市の方針に合致するの か伺う (3) 市有地を売却する時、買戻し特約付きで売 買した事例が何件あるか。また買戻し特約条 項を付ける理由を伺う (4) 市有地を買ってすぐ転売出来るか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 26 年 9 月 18 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	宮 平 のり子 (社 民 党)	1 防災行政について	近年、世界の多くの地域で異常気象によって引き起こされる自然災害によって甚大な被害が発生している。30 年に一度という異常気象が頻発、東京・北海道の豪雨、つい最近の 8 月 12 日広島市北部において大雨による大規模な土石流で 70 人余の尊い人命が失われるとともに、多くの家屋が破壊された。亡くなられた方々のご冥福を祈る。このような異常気象によってもたらされるものとして、本県で最も懸念されることは超大型台風(スーパー台風 910hp ヘクトパスカル以下)の襲来と海面上昇に伴う海浜の後退と私は考える (1) 2005 年発生ハリケーンカトリーナ、2007 年のインド洋シドル、昨年 11 月フィリピンに発生したハイエン級のスーパー台風が沖縄に襲来した場合、本市に及ぼす被害はどのようなものが予想されるか。また、その対策はどのように行うのか。スーパー台風等の想定を気象庁の情報をもとにした被害シミュレーションを実施する必要があると思うが、予定はあるか (2) 台風のたびに停電や浸水地域、土砂災害が発生するが、その復旧作業の迅速化が求められている。その地域のデータをもとにした過去 10 年の改善策を示してほしい
		2 環境行政について	(1) 本市は地球温暖化対策として緑のカーテンや、太陽光発電への補助金交付等多くの事業を積極的に取り組んでいる。その実績を問う。また、本市の第二次環境基本計画では温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を 2018 年度に 2000 年度の基準値に戻し、2023 年度には 5 %削減する目標を掲げているが、その主な方法を示してほしい (2) 本県には多くの観光客が訪れるが、温暖化による海面上昇により、海浜の消失が予測されている。海面上昇の予測が最大に進んだ場合、観光への影響について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 26 年 9 月 18 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	清 水 磨 男 (なは民主)	1 災害対策について 2 子育てについて 3 反転学習について 4 スポーツについて 5 観光について 6 労働について	119 番などの緊急通報は、多言語での対応がなされているのか伺う (1) 次年度に向けた 2 年保育拡大への取り組みを伺う (2) 市内の行政関連の土地建物で、希望団体があれば子育て支援施設に利活用できる場所はあるのか伺う I C Tの有無によらず、教育の手法として反転学習の導入を那覇市はどのように考えるのか伺う チーム名に「那覇」を冠している F C 那覇が九州サッカーリーグにて活躍しているが、那覇市として支援や連携はどのような状況か伺う (1) 県内限定となる I C カード「オキカ」に対する那覇市の考えを伺う (2) 那覇市は「ユニバーサルデザインのまちづくり」を掲げているがユニバーサルツーリズムも推進する考えがあるか伺う (1) 若者、高齢者、障がい者、グレーゾーンの障がい者、外国人、生活保護受給者、母子家庭、父子家庭など、様々な就労困難者がいるが、那覇市として積極的な就労に向けた対策が実施されているのか伺う (2) テクノロジーと人材を活用し、市民が主体となって地域の課題解決に取り組む Code For Japan という団体があり、沖縄でもその Brigade として Code for Okinawa が活動しているが。那覇市としてこのような活動や団体も活用していくことが有用だと思えるか、那覇市の対応を伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)		【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 26 年 9 月 18 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	野 原 嘉 孝 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 御茶屋御殿の復元について 2 協働によるまちづくりについて 3 伝統工芸について	御茶屋御殿の復元を目指す取り組みについて、世界遺産を見据えた上で現況のままでも「国の文化財登録」をすることが第一歩となる。そのために現場の測量と市長の意見具申が必要であると 6 月定例会で確認した。 9 月 10 日、復元期成会の皆さんとカトリック沖縄教区（安里教会）の事務局長を訪問し、説明申し上げたところ、これまでと同じく協力の意向を示された。このことを踏まえ今後の作業にあたり当局の見解を伺う 本市は協働によるまちづくりの活動に貢献されている方々の活動に敬意を表し、協働大使の委嘱を広げてきたが、その取り組みについて以下伺う (1) 協働大使の意義と、これまでの取り組み及び人数の推移について (2) 今後の取り組みについて (3) 動物の「ヤギさん」に続いて「琉球馬」への協働大使委嘱の可能性について 那覇市伝統工芸ブランド確立事業における伝統工芸品として琉球漆器、琉球びんがた、壺屋焼、首里織、琉球ガラスが認定されているが、この品目に入っていない琉球人形について以下伺う (1) 市内における琉球人形制作者・店舗の数と現況について (2) 伝統工芸品としての琉球人形の位置づけについて (3) 何故、本市の伝統工芸品リストに琉球人形は入っていないのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 道路行政について	車両の通行において危険と見られるケースについて以下伺う (1) 安里バイパス給油所の裏通り・大道北線を大道から上がって新道路・真嘉比松川線に接する地点に車両がスムーズに合流できるよう工夫した道路標示ができないか (2) サンエー食品館真嘉比店前の交差点信号機の時間調整について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 26 年 9 月 18 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	糸 数 昌 洋 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	市長の政治姿勢について	翁長市長は県知事選挙への出馬を決意され、今議会を最後に那覇市長の職を辞することになる。多くの市民県民が今後に期待を寄せる一方で、市長の政治スタンスについて様々な意見、評価があるので、以下の点について見解を伺う (1) 沖縄における自公、保守中道路線の意義と評価について かつて自民党県連幹事長の立場で沖縄における保守中道路線を構築した立て役者の一人として、その意義と評価について伺う (2) 「オール沖縄」という考え方について 「ヤマトに対するオール沖縄」「ウチナーンチュのアイデンティティに基づくオール沖縄」は今後の沖縄問題を乗り越え、沖縄に真の平和と県民の幸せを確立する方途、政治哲学になり得るのか、わかりやすい説明を求める (3) 政党政治と地方自治のあり方について 中央の権力構造である政党政治と地方自治の関係について、今般の基地問題で象徴されるねじれは今後も続くと予想されるが、地方自治の観点からいかに政党政治を克服していくのか見解を伺う (4) 県と市町村の関係について 市長及び市長会会長としての経験から、県と市町村の望ましいあり方について、見解を伺う (5) 首長及び行政と議会の関係について 昨年の２月議会代表質問にて、二代表制を担う市長と議会の関係について見解を問うたが、行政側の主体的な姿勢も大変重要と考える。二代表制における首長及び行政側の議会に対する姿勢はいかにあるべきか。今後、県政、市政ともに、議会との関係においては二代表制の本旨に基づく行政運営が求められると考えるが、見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成26年9月18日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	坂 井 浩 二 (無 所 属) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 危機管理の あり方につい て 2 子ども行政 について 3 教育行政に ついて	危機管理のあり方について以下伺う (1) 本市内において、土砂災害に見舞われる危険度の高い「土砂災害危険箇所」は、現時点において何世帯、何人が該当するのか伺う (2) 国土交通省は平成 27 年度から大規模災害時における避難や救助、物資輸送の為の「緊急輸送道路」への新たな電柱設置を禁止する方針を示している 本市範囲内において「緊急輸送道路」に該当する国道・県道・市道・臨港道における既存の電柱設置本数はそれぞれいくらか (3) 去る 7 月 8 日来襲し、国内で初めて特別警戒警報が発令された台風 8 号。毎年のように見舞われる風水害の被害に遭われた市民のための「那覇市災害見舞金」の内容及び実績状況を伺う (4) 「那覇市新型インフルエンザ等対策行動計画」が策定された。 この文言にある「等」は何を指しているのか具体的症例を伺う 県は認可保育所の新設や増設等、待機児童解消に向けた緊急整備事業として約 25 億円の補正を追加し、総額約 55 億円の過去最大規模の予算編成を行った。この大型予算を踏まえて、本市はどのように施策を推進していくのか。 従来のペースと比較してどのようなメリット、改善が図れるのか伺う 教育現場における課題について以下伺う (1) 本市内小中学校におけるいじめの報告事案は何件か、又、そのことが原因と思われる不登校の児童・生徒数は何人か、過去 5 年間の件数を伺う

一般質問（４日目） 平成 25 年 9 月 19 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 龍柱問題について	(2) 「那覇市いじめ防止基本方針」を策定した。その中で、いじめによる重大事態の調査を行う機関として、教育委員会主体の「那覇市いじめ専門委員会」を設置するとあるが、これまで既存の設置機関に足りなかったものは何か、また新機関設置に伴って、どのような改善が図れるのか伺う (3) 文部科学省の平成 25 年度学校教員統計調査によって全国の国公立小中高ともに、教職員の平均年齢が、調査開始以来、初めて低下したことが判明した。そこで以下伺う ① 本市内小中学校における教職員の平均年齢及び年代別の割合をそれぞれ伺う ② 教職員の低年齢化が学校現場に及ぼす影響について、どのようなメリット・デメリットが考えられるのか伺う 那覇市と福州市の友好交流のシンボルとして建設予定の龍柱建立の現状と実態、市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 26 年 9 月 18 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 米軍基地・ 沖縄振興問題 について	(1) 沖縄は基地依存経済と言えるのかについて問う (2) 復帰後沖縄に投入された沖縄振興費の総額を問う (3) 沖縄県は、国からの財政移転が突出している状況にあるのかについて問う (4) 沖縄県が試算した基地返還後の経済波及効果で那覇新都心地域の返還前の基地従業員 168 人としている根拠と返還前の平均基地従業員数を問う (5) 沖縄の飲料水、工業用水などの水資源確保は北部訓練場、キャンプハンセンなどの米軍基地内に建設されたダムが多くを担っている状況について問う
		2 教育行政について	(1) いじめ、体罰件数と内容を問う (2) いじめのない、子どもの命を大切にする学校をつくるために、国会で成立した「いじめ防止対策推進法」の弱点を改善する立場から「いじめ防止対策推進条例」を制定すべきである。見解を問う
		3 政治姿勢について	翁長市長の県知事選出馬について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（４日目） 平成 26 年 9 月 18 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	知 念 博 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 しまくとぅば普及について 2 福祉行政について	(1) 琉球いろは歌をしまくとぅば普及のための 1 つの教材として活用してはどうか。当局の見解を伺う (2) 本市においても学校でしまくとぅばの授業を導入すべきと考えるが、教育長の見解を伺う (1) 本市に障がい者 I T サポートセンターを誘致すべきである。当局の見解を伺う (2) バリアフリー化の取り組みについて伺う ① 公園のバリアフリー化について ② 道路のバリアフリー化について ③ 投票所のバリアフリー化について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員長、関係部長